

経営比較分析表（平成30年度決算）

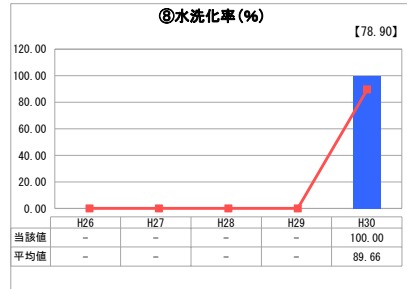
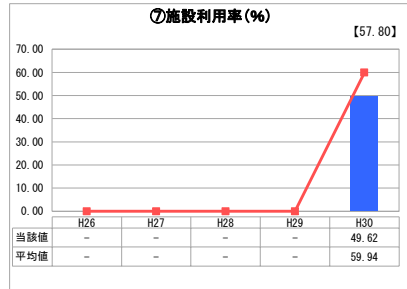
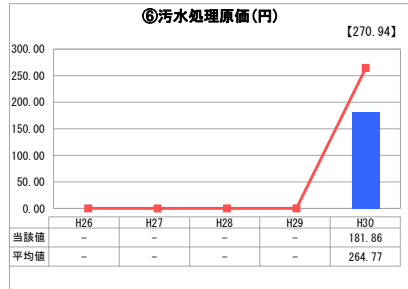
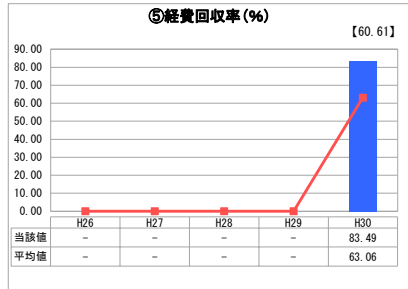
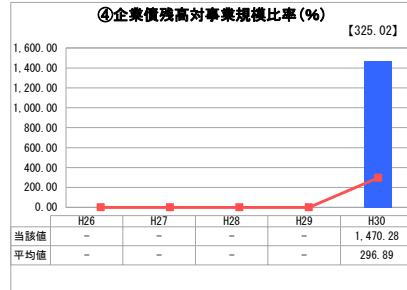
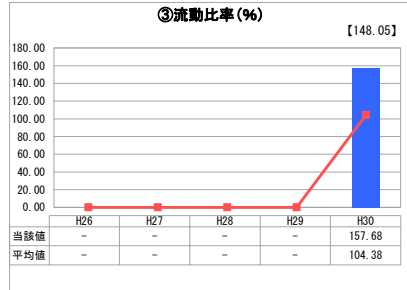
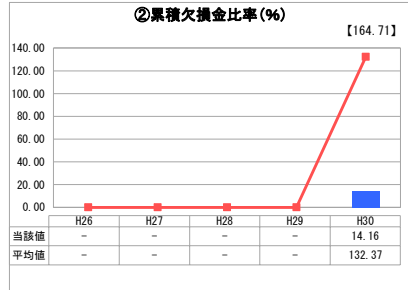
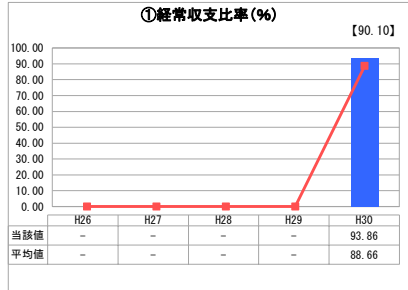
石川県 七尾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	38.98	4.58	100.00	2,880

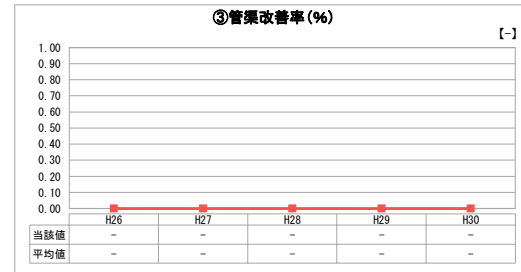
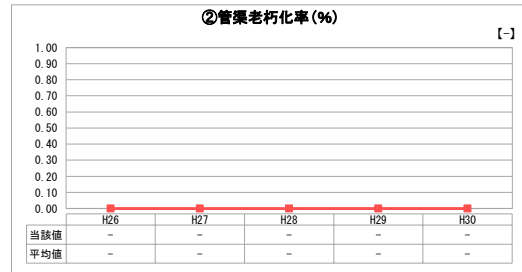
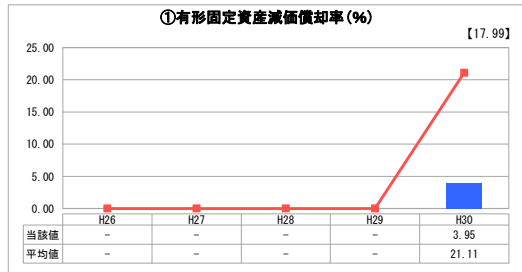
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
52,940	318.29	166.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,406	47.30	50.87

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

整備事業による浄化槽の新規設置により使用料収入は増加しているが、一方で管理基数の増加により維持管理費や整備事業に要した起債の償還額が増加していることから①経常収支比率及び②累積欠損金比率の数値は、若干悪化している。

④企業債残高対事業規模比率は、整備途中であることから使用料収入に対し事業投資に要した企業債の残高が大きく、類似団体と比較すると高い状況にある。

⑤経費回収率や⑥汚水処理原価については、平成28年度の分流式下水道に要する経費の見直し以降、数値の改善が見られるが、今後、経年劣化による修繕費や地方債償還費が増えることから数値の悪化が予想される。

⑦施設利用率は、流入量が少ないことから類似団体とくらべる低い状況である。

⑧水洗化率は、100%で推移している。

2. 老朽化の状況について

浄化槽躯体は、更新が必要な老朽化は見られないが、整備初期(平成15年度～平成17年度)に設置した浄化槽で機器設備類(ブローヤや排水ポンプなど)の修繕や更新が必要になっている。

全体総括

今後、整備事業に要した地方債の元利償還費や老朽化による浄化槽の更新費用が増加していくことが予想される。これらの費用の増加を見据え、過大な投資にならないよう適切な計画により整備を進め、維持管理費も含めた将来負担額の抑制により、経営の健全化に努める。

なお、当該事業は平成30年度より地方公営企業の一部を適用している。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。